



慈愛の森



令和6年10月11日発行
文責：校長 小野明彦

『無自覚ないじめ』で 傷つけない・傷つかない

↓ ~ 「いじめはやめましょう!」だけでは不十分です ~

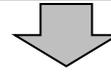
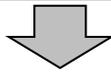
【加害者側や周囲のとらえ】の例

- 親しみを込めてあだ名で呼ぶ
- 自分を笑わせてくれる友だち
- 一人が好きそうだから無理に遊ばせようとする
- 誤解のないように面と向かってはっきりものを言う
- 本人のためを思って熱く指導

⇔

【被害者側のとらえ】の例

- ▲自分をバカにしている
- ▲自分が笑いものにされている
- ▲仲間はずれにされている
- ▲気づかい・配慮に欠けている
- ▲自分にだけ厳しい、耐えがたい



「加害者」にならないために

- ・自分に悪意がなくても、いじめをしている可能性があることをみんなと共有する
- ・一般的に相手が嫌がるおそれがある行為はしないようにする

「被害者」にならないために

- ・苦痛に感じたことを言葉にして相手やまわりに伝える
- ・いのちが一番大切であり、友だち関係が壊れることを必要以上に恐れない

これから生きていく社会では、今まで以上に多様な価値観や感じ方の異なるたくさんの人々と接していくこととなります。互いの価値観や感覚には違いがあることを前提とし、いやなことをサラリと「いや」と伝えたり、サツとかわしたりするセンス、相手の「いや」というシグナルを感じ取れる感覚がとても大切と言えます。子どもたちが教職員と共に学校生活を送る中、こうした視点をもって見守り、小さな“もめごと”をチャンスととらえ、社会性を育てていきたいと考えます。

(参考：元スクールロイヤー 石井慎也 弁護士 「いじめやその他生徒指導事案に対する校長を中心とした組織的対応の留意点」 10/8 講演)

がんばりの足跡

◆第43回全日本小学生バンドフェスティバル
銀賞 長井市立長井小学校



◆防犯作品コンクール長井地区審査会
【防犯標語の部】

1年 齊藤 凧 さん



◆西置賜地区読書感想文コンクール
〈特選〉

小学校中学年の部

4年 土屋 怜大 さん

作品名:「ぼくは何から始めよう」/本の題名:「さようなら プラスチック・ストロー」

〈入選〉

小学校低学年 (自由図書)

1年 山内 新 さん

1年 佐藤 舞優 さん

小学校中学年 (自由図書)

3年 梅津 皇汰 さん

小学校中学年 (課題図書)

3年 鈴木 煌空 さん

小学校高学年 (自由図書)

5年 土屋 颯真 さん

5年 長谷部 莉子 さん



◆第44回長井市小学校親善陸上大会

6年男子100m 第1位 四釜 向曜 さん 記録 13秒61 (大会新記録)

Welcome to Nagai Elementary School !!

ALTのティモシ先生に代わって、先月よりお勤め
いただいている『シシリア』先生です。アメリカの
カリフォルニア州出身で、この8月、初めて日本に
来られたとのこと。本校では、5・6年生中心
に授業に出させていただいております。

英語とスペイン語が話せます。毎日学校に
いますので、校内で会った時は、気軽に声を
かけてください。



(グティエレス・ベルドゥズコ・シシリア 先生)